

(2) 取り組み課題

① コミュニティの拠点づくり

* 1 旧高田小の拠点施設づくり

旧高田小整備に合わせ、地域の拠点となる施設を配置し、災害時は助け合いなど防災の拠点にします。

* 2 旧雑司が谷保育園の活用

雑司が谷一丁目の元区立雑司が谷保育園を、子育て支援、区民の文化・アートなど、地域に役立つ拠点に活用できるよう強く働きかけます。

② 商店街の環境整備・活気づくり

参道商店街や弦巻通り商店街などの商店街は、他にはない特色を持っています。それぞれの個性を生かしながら、商店街に係わる方々とともに活気づくりや環境整備に取り組みます。

なお、木造アーケードという今日では貴重な「雑司が谷マーケット」は、所有者の意向もふまえながら、保全できるよう取り組んでいきます。

③ 駅前の環境整備

まちの玄関にあたる地下鉄雑司が谷駅と都電鬼子母神前駅の周辺は、環5の1号線の工事もあるため殺風景な空間になっています。来街者へのおもてなしと憩いをテーマに整備を進めるよう提案します。

④ まちかどの居場所づくり

雑司が谷のまち中で憩いと人々が出会う場所づくりに取り組んでいきます。

* 1 まちかどひろば

商店街や密集地の一角にミニひろばを設け、一休みや子育てなど通じて近隣交流と防災に役立てます。

* 2 まちかどサロン

商店街の空き店舗等を活用し、子ども連れや高齢者、来街者や買物客の交流や休憩の場にします

* 3 まちかどベンチ

玄関前や店舗前にベンチを置き、一休みやゆったり会話できる場所を提供します(夜間は取り込み)。



⑤ 「雑司が谷・歴史と歩きやすい道」づくり

雑司が谷の歴史的な道、景観資源等を活用したまち歩きルートを設定し、来街者や子ども達に雑司が谷の情報を提供します。

⑥ まち育てを支援し、まちづくりを運営する仕組みづくり

まちづくりやまち育てを担う地域の活動を多くの方と連携しながら、活発にしていきます。

* 1 まちづくりの会の継続強化

まちづくりの会の活動を継続します。ニュースの発行、まちの点検、提案活動を行います。

* 2 雑司が谷をテーマにしたイベント等の展開

雑司が谷地域の資源や空間を活かして、地域住民、学生や外部のボランティアなどと一緒に雑司が谷にふさわしいイベント等を行うことも考えていきます。

* 3 まちづくりマネージメントの仕組みづくり

様々な活動を運営していくためには「雑司が谷ネットワーク」づくりが重要になります。

地域住民が中心になって、まちづくり会社やNPOなど業務を行う組織を作ることを検討します。

3 まちづくり提案の実現に向けて

これらの提案は、次の計画や地域のまちづくり活動に反映し、時間をかけて実現していきます。

- ① 豊島区居住環境総合整備事業による整備
- ② 街並み誘導型地区計画等の導入
- ③ 東京都との連携・協力・依頼(雑司ヶ谷霊園、都道整備等)
- ④ 日本女子大への協力依頼
- ⑤ 地域住民を主体としたまちづくり活動

ご意見をお寄せください
みなさまの意見で、この案を修正・強化して区に提出します。ご意見・ご感想をお寄せください。

まちづくりの会、会員募集
会では、随時会員を募集しています。あなたの力で雑司が谷のまちを育ててください。参加をご希望の方は、事務局まで、電話等で連絡ください。
豊島区南池袋2-45-1 豊島区地域まちづくり課
Tel.3981-0489 / eメール: A0022706@city.toshima.lg.jp

まちづくりニュース
2015・11
通算78号
(まちづくり提案)

ぞうしがや

http://zoshigaya.org

●企画／発行
雑司が谷・南池袋
まちづくりの会

●事務局・連絡先
豊島区地域まちづくり課
事業第1グループ
03-3981-0489

まちづくりの会から「雑司が谷のまちづくり提案(案)」を提案します

まちづくりの会では、まちづくり提案の素案をまとめました。この提案について地域の皆様のご意見を伺うために説明会を開催いたします。それに合わせて豊島区では、地区の整備計画素案の説明を行います。是非、ご参加ください。



はじめに

雑司が谷では、地域住民と豊島区が協働してまちづくりを進めてきました。「雑司が谷・南池袋地区まちづくりの会(旧池袋南地区まちづくりの会)」は、平成22、23年度に雑司が谷二丁目のまちづくりについて豊島区に提案を行いました。提案を受けて、区では雑司が谷一・二丁目・南池袋四丁目を対象に、災害に強いまちを目標の1つに掲げたまちづくり事業を進めることになりました。

このことに向けて、本会では、専門家や大学の支援のもと、地域住民が望むまちづくりの方針を検討し、提案にまとめました。雑司が谷では、道路・公園・住まいや街並みなどの整備だけでなく、住まい方や憩い、歴史と文化、コミュニティやにぎわいなどを大事にしたまちづくりが重要であると考えています。

近年、雑司が谷では、平成26年12月にはユネスコによる「未来遺産」の地域認定などで脚光をあびています。土地柄に惹かれて、来街者や移住してくる若い世代も増えています。子供や高齢者、障がいのある方を含めすべての方にとって、安心して暮らせるまちを目指して、地域住民の参加と協力のもとで、「雑司が谷らしさ」を大切にしたいまちづくりに取り組む所存です。提案に込められた趣旨をご理解いただき、ご意見をいただければ幸いです。

平成27年11月 雑司が谷・南池袋まちづくりの会 会長 清田 明・会員一同

1 雑司が谷・南池袋地区のまちづくりの目標

(1) まちづくりの基本理念

「雑司が谷らしさを大切にしたいまちづくり」

「雑司が谷らしさ」には、路地など長年にわたって伝えられ育まれた街並みや環境だけでなく、歴史や文化、住まい方、生活意識なども含まれます。



対象地区
雑司が谷一・二丁目
南池袋四丁目
(約38.2ha)

(2) 目指すまちの将来像

- 基本理念のもと次のまちづくり目標を提案します。
- ① 雑司が谷らしさをふまえて、災害に強い、安心して暮らせるまち
 - ② 歩きたくなる、人にやさしい街並みのまち
 - ③ 緑あふれる、暮らしやすい住環境のまち
 - ④ 歴史が息づくまち
 - ⑤ 人とのふれあいと居場所があるまち

会の『まちづくり提案』、及び豊島区による『整備計画素案』説明会のお知らせ

まちづくりの会から「まちづくり提案」、豊島区からはそれを受けた「整備計画素案」を説明します。

日時: 平成27年11月27日(金) 19時～
会場: 雑司が谷地域文化創造館 第二・三会議室

2 課題別のまちづくり方針

A みちづくりの方針

(1) 基本的方向

① 歴史的な成り立ちと特性を生かす

雑司が谷のみちづくりでは、成り立ちや特性を大切に、時間をかけて改善していくことが重要です。

② 歩行者中心で、自転車や車は気をつけて通る

現在、交通事故は少なく、歩いて安心の環境になっています。車にはちょっと不便なまちを目指します。

③ 災害時の助け合いや避難、緊急車通行など 防災に役立つ道路の確保

災害時を考えると、この地区の道路は十分ではありません。重点的な道路を定め機能を確保していくことが重要です。

④ 歩きたくなる、立ち止まっても楽しいまち

坂道や階段、見晴らしがよい場所、親しみやすい商店街、人気の公園もあります。まちと人、人と人の交流がしやすい空間づくりが重要です。



(2) 取り組み課題

① 優先整備路線の整備

関係者の理解と協力を得て優先整備を提案します。

- * 路線 1：目白通りからの鬼子母神参道入口
- * 路線 2：目白通りと旧高田小をつなぐ路線
- * 路線 3：弦巻通りー旧高田小をつなぐ路線

② 整備方法検討路線の検討

重要な路線ですが、通例の整備では車の通り抜けを促す恐れがあります。みちづくりの方法を検討します。

- * 路線 4：鬼子母神参道商店街と旧高田小を結ぶ路線
- * 路線 5：雑司が谷保育園 - 雑司が谷幼稚園前の路線
- * 路線 6：日本女子大寮東側
- * 路線 7：日本女子大寮内南北通路
- * 路線 8：雑司ヶ谷霊園南側通りの歩行空間の確保

③ 道路空間の改善（電柱地下化、舗装改善等）

舗装改良や電柱の移設・地中化、看板等の規制等によって歩きやすい、地域の賑わいづくり等に役立つまちになるよう取り組みます。

- * 路線 9：目白通り歩道の拡幅と電線地中化
- * 路線 10：鬼子母神参道商店街の改善
- * 路線 11：弦巻通り商店街の環境づくり

④ 行き止まり対策ゾーンの設定と改善

長い行き止まりの箇所では、災害時や日常的な利便性向上を考えて、行き止まりの解消に努めます。

⑤ 交通事故防止の取り組みと重点交差点対策

近年、自転車利用が増えています。交通安全の観点から点検を行い、問題箇所では事故が起きにくい環境づくりを進めます。

B 緑とひろばの方針

(1) 緑とひろばづくりの基本的方向

① 大きな緑をつなぐ

「大きなみどり」を再整備し、それらを緑豊かなみちや街並みでつなぎます。

② 小さな緑をみんなで守り育てる

雑司が谷には、住民による「緑のこみちの会」の活動や、各所に緑化に取り組む家庭があります。子どもたちともいっしょに緑化を進めていきます。

③ みどりの拠点を増やす

旧高田小跡地に公園を整備するほか、密集地で不足している公共空地・防災に役立つひろばを確保します。

(2) 取り組み課題

① 「大きな緑の拠点」の創出と再生

- * 1 旧高田小の公園整備、地域と防災の拠点づくり
- * 2 都立雑司ヶ谷霊園の環境再整備
- * 3 日本女子大寮地の保全（緑や歴史的建造物の保全、環境整備、地域と大学との連携）



みどりと広場の方針図

② 既存の公園、児童遊園の再整備と小ひろばづくり

- * 1 既存の公園・児童遊園の点検と再整備
- * 2 ミニ公園・防災ミニひろばづくり
特に密集や行き止まり箇所等で、小ひろばを確保し、日常的には近隣住民による花づくりを育成します。
- * 3 防災に役立つ水の確保
消防水利の他、井戸活用、雨水利用を進めます。

③ 緑を地域の力で守り育てる

- * 1 歴史がある緑の保全
大きな緑だけでなく、古くから伝わる樹木等を大事にし、適切な維持を支援できるしくみを検討します。
 - * 2 住宅地の緑の育成、路地緑化の育成
路地の小さな緑を支援する仕組みを検討します。
 - * 3 雑司が谷・緑育プロジェクトの展開
「緑のこみちの会」の活動支援し、子どもたちもいっしょにプロジェクトを展開します。
- #### ④ 都市計画道路環5の1号線の街路緑化

C 住まいづくり・街並みづくりの方針

(1) 基本的方向

- ① 雑司が谷の生活、人の気配が感じられる街並み
このまちには、ふだんの生活の中に声かけ、立ち話などできる関係が息づいています。このようなライフスタイルを大事にできる街並みを目指します。
- ② 雑司が谷のくらしを楽しむ住まいづくり
新しい住まいづくりにあっても、この地に住み続けられ、また雑司が谷の生活をいっそう楽しめる工夫をいただくよう取り組みます。

(2) 取り組み課題

① 「雑司が谷住まいづくりのキーワード」

雑司が谷らしさに貢献する住まいづくりを推奨して、建築主や設計者に次のキーワードを提案します。

◆ 住まいづくりのキーワード（案）

- ・ 低くて柔らかい垣根・柵
生垣・みどりを利用しましょう
硬い塀は低くしましょう
- ・ 庭になる駐車スペース
柵はつけないようにしましょう
玄関を隠さないようにしましょう
- ・ おもてなしの玄関脇
木や草花を育ててみましょう
ベンチを置いてみましょう
- ・ 地域を見守る窓やベランダ
通りに向けた窓やベランダを作りましょう
透明性のある素材を活用しましょう
- ・ 雑司が谷の街並みを彩る住まい
地域になじむ色にしましょう
まちや住み手の宝物をおもてに出しましょう

② 雑司が谷にふさわしい「まちづくりルール」策定

環5の1沿道や南池袋四丁目の一部には、既に地区計画が指定されています。現在、指定されていない地区についても、この土地柄にふさわしい「まちづくりルール」を策定し、建築物の誘導を行います。

③ 住まいの耐震化・不燃化、改築時の道路後退

D 地域育てと まちの元気づくりの方針

(1) 地域育てとまちの元気づくりの基本的方向

- ① 多くの人が集い、交流する場所と仕組みづくり
旧高田小整備等に合わせて、様々な文化活動や子育て・高齢者交流など地域住民の活動の場所を確保していきます。それらの施設づくりと運営を、地域が主体になって動かしていく仕組みをつくっていきます。
- ② 地域に根ざしつつ来街者にも楽しい商店街づくり
来街者の増加も考えて、各商店街でビジョンを定めて取り組みを進めることが重要です。
- ③ 「居場所」や「出会う場所」育て
雑司が谷では、楽しく歩き、人々に出会い、思いがけない季節や風景、歴史を感じられます。そのような出会いや交流、落ち着ける場所などを、まちづくりを通じて生み出していきます。